

プレゼンテーション作成検定試験 1級練習問題

<問題>

試験時間は30分とし、PR1-00 フォルダ内各データを使用する。

<前提>

対象：会議出席者 目的：情報流出の原因となる「ヒューマンエラー」への注意喚起を行い、対策を考える。

<処理条件>

- A-1. 画像“1-1.png”（配置下部中央）・リンクの挿入（最初のスライド）
- A-2. スライド番号（24ポイント、斜体、茶色）（開始番号は0、1スライド目非表示、配置右下）
- A-3. 背景画像“back.png”・画面切り替え

<作成例>

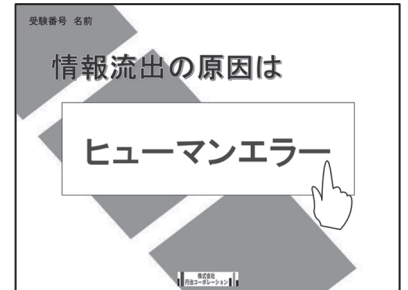
- 1-1. 受験番号、名前を入力
- 1-2. 文字入力（特殊文字）

情報流出の原因は

- 1-3. 図形（塗りつぶし白色、配置中央）・図形内文字入力

ヒューマンエラー（66ポイント、太字、中央揃え、紫色）

- 1-4. 画像“1-2.png”（配置<処理条件>1-3. 図形に作成例のように重ねる）



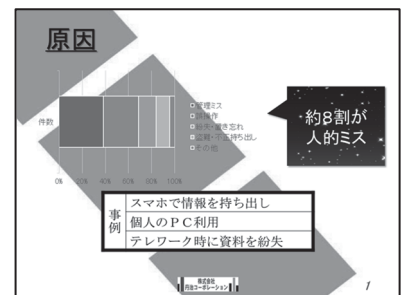
- 2-1. スライド挿入・文字入力

原因（48ポイント、下線、影付き）

- 2-2. 原因ごとの件数割合を100%積み上げ横棒グラフで作成

基データ：graph.csv 凡例：原因

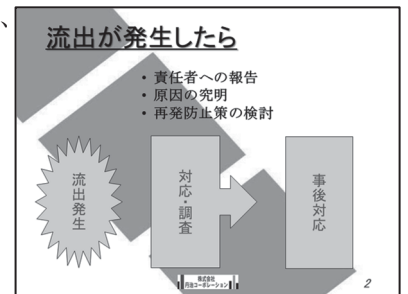
【①開始・フェード：グラフ】
- 2-3. 図形（塗りつぶし画像“1-3.png”、線なし、影付き、配置<処理条件>2-2. グラフの右側）・図形内文字入力（32ポイント、中央揃え、白色）



- 2-4. 表（全セル塗りつぶし白色、線種は問題のとおり、配置中央）・表内文字入力（明朝、24ポイント）

事例	スマホで情報を持ち出し
（縦書き、中央揃え）	個人のPC利用
	テレワーク時に資料を紛失

【③開始・表示：表】



- 3-1. スライド挿入・文字入力

流出が発生したら（48ポイント、下線、影付き）

- 3-2. 文字入力（明朝、28ポイント、太字、行頭揃え、箇条書き記号）（配置中央）

責任者への報告
原因の究明
再発防止策の検討

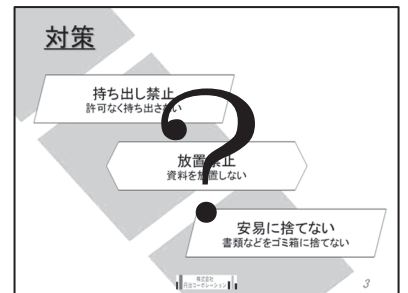
【①開始・スライドイン・左から：文字】

- 3-3. 図形（塗りつぶし薄い青色）・図形内文字入力（縦書き、28ポイント、中央揃え、青色）

流出発生	対応・調査	事後対応
------	-------	------

【②開始・フェード：図形】 【③開始・ズーム：図形】 【⑤開始・フェード：図形】

【③終了・フェード：図形】 【④終了・ズーム：図形】



- 4-1. スライド挿入・自由作成（下記条件を参照、アニメーションはグループの番号順に動作）

グループ	文字入力	見出し	条件
1	対策		48ポイント、下線、影付き
2	持ち出し禁止 許可なく持ち出さない	○	※改行位置：問わない ※見出しはグループ内で区別 (サイズ、フォント、太字、色など)
3	放置禁止 資料を放置しない	○	※配置：グループごと
4	安易に捨てない 書類などをゴミ箱に捨てない	○	※アニメーション設定：3種類以上 ※図形種類：2種類以上

- E-1. 上書き保存